



アドミッションセンター

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10232/00032284

アドミッションセンター

アドミッションセンター概要

アドミッションセンターは、入学者選抜方法の改善、中長期的な入学者選抜方法の在り方の策定、入学者選抜機能の検証、学生確保に係る広報活動等を行うことにより、継続的に優秀な学生を確保することを目的として平成26年4月に設置されました。

アドミッションセンターは、次に掲げる事項について実施します。

- (1) 入学者選抜方法等に係る調査、研究
- (2) 入学試験データの分析、評価
- (3) 学部及び研究科からの求めに応じた入試に関する助言
- (4) その他センター長が必要と認めた業務に関すること。

また、アドミッションセンターは、各学部と共同し、次に掲げる事項について企画立案及び実施します。

- (1) 入学者選抜方法の改善に関すること。
- (2) 中長期的な入学者選抜方法の在り方の策定に関すること。
- (3) 入学者選抜機能の検証に関すること。
- (4) 入学後の学業成績の追跡調査に関すること。
- (5) 学生確保に係る広報活動に関すること。
- (6) 全国的な志願者動向を踏まえた志願状況の分析に関すること。
- (7) その他センター長が必要と認めた業務に関すること。

1. 調査・研究について

アドミッションセンターが行っている主な調査・研究は、以下のとおりです。

- (1) 入学者選抜方法等に関する調査、研究
- (2) 入学試験データの分析、評価
- (3) 受験生向け広報活動の企画立案と推進

2. アドミッションセンターの組織

センター長（教育担当理事、副学長）、兼務教員2名（高大接続・入試広報担当学長補佐及び入試改革担当学長補佐）、専任教員（1名）、特任教員（1名）、担当事務（特任専門員及び専門職員）で構成されています。（令和2年3月現在）

令和元年度 活動報告

自己推薦型入試の導入
(令和2年度入試より導入)**1. 導入の目的**

鹿児島大学では、「学びたい力」(鹿児島大学への入学を強く希望する者)、および「学ぶ力」(大学の授業を受講できるレディネス*)を持った人材を求めていることから、新たな多面的総合的評価入試である「自己推薦型入試」を新設しました。

鹿児島大学では現在、教育改革を推進しており、中でも入試改革は、学位の質保証のために必要な教育改革の一環と位置づけています。「自己推薦型入試」の新設により、入試を起点として、目標達成型、体系的の一貫教育における初年次教育への円滑な接続を目指します。

(*レディネスとは、学問の修得や学修には、一定レベルの知識、経験、心身の成熟などの素地が必要であり、これらの条件のことをいいます)

「学びたい力」(鹿児島大学への入学を強く希望する者)については、現役生や既卒生を対象とし、また、推薦入試に見られるような一高校からの人数制限枠等を設けず、鹿児島大学を第一志望とする受験生が、自らの意思で自由に出願できることとします。

「学ぶ力」(大学の授業を受講できるレディネス)については、個別試験として講義型試験を実施します。講義型試験では、①講義を主体的に聴いて要点を「キャッチ(思考、判断、理解)」し、②キャッチした要点を「メモ」し、③出題された設問等に文章で的確に表現する能力を評価します。

一般入試(前期日程)は主に知識、技能、思考力を、一般入試(後期日程)は主に思考力、意欲、関心、適性を重視しているのに対し、この自己推薦型入試は、学力の3要素の中で、思考力、判断力、表現力、主体性を特に重視します。

講義型試験では、大学入学後の授業(初年次教育)の導入段階での「学ぶ力」の形成力を確認することが目的であることから、必ずしも高等学校における各教科、科目の高度な専門知識を前提とせずとも、講義内容を理解できるように配慮し、志願する学部、学科等に関わらず同一の内容とします。

2. 導入する学部、学科等

法文学部(人文学科全コース)、理学部(理学科全プログラム)、医学部(保健学科看護学専攻)、歯学部(歯学科)、工学部(建築学科)、農学部(全学科、国際食料資源学特別コース)、水産学部(国際食料資源学特別コース)、共同獣医学部(獣医学科)

3. 選抜方法

大学入試センター試験の成績、講義型試験(2月上旬実施)、および出願書類、面接試験等の結果を総合して合格者を決定します。大学入試センター試験は、5教科7科目をベースとします。

講義型試験では、まず、高等学校の1コマの平均的な時間の範囲内で講義を聴講し、その間、講義内容をメモするなどして理解を深めます。その後、講義内容に関連した設問に解答する形式とします。

令和元年度 活動報告

多面的、総合的能力の育成と入試を考えるシンポジウム
—地方国立大学の多様な人材の受け入れを高校×大学×社会で考える—

1. 開催趣旨

鹿児島大学アドミッションセンターでは中教審で示された学力の3要素を持つ多様な人材を受け入れるため、入試改革に向けた議論を進めています。その際に必要となるのが地域の高等学校と共通認識を持つことであると考え、平成28年より毎年、入試改革に関するシンポジウムを開催し、学内外より多くの参加をいただいています。

2. 開催概要（令和元年度）

日時：令和元年6月15日（土） 13：20～16：30

会場：鹿児島大学郡元キャンパス稲盛会館

参加者数：84名

3. プログラム

(1) 開会の挨拶

武隈 晃氏（鹿児島大学 副学長 教育担当理事 アドミッションセンター長）

(2) 大学での取り組みの紹介

・「本学の自己推薦型入試等における多様な人材の受け入れについて」

竹内 正興氏（鹿児島大学 総合教育機構アドミッションセンター 准教授）

・「長崎大学での特別入試による多様な人材の受け入れと卒業生への期待」

吉村 幸氏（長崎大学 大学教育イノベーションセンターアドミッション部門 教授）

(3) 高校での取り組みの紹介

・「大島高校での人材育成と卒業生への期待」

高橋 大輔氏（鹿児島県立大島高等学校 教諭）

(4) 社会が求める人材について

・「鹿児島県が求める人材像」

米盛 幸一氏（鹿児島県庁）

(5) 質疑応答 総括討議

(6) 閉会の挨拶

太田 一郎氏（鹿児島大学 学長補佐）



令和元年度 活動報告

鹿児島大学主催 単独説明会の実施

1. 実施の狙い

(1) 地域貢献と地域連携の強化

特に、鹿児島県の地方部（離島を含む）に居住する高校生、高校教員との連携強化。

(2) 鹿児島大学のステークホルダーに対して、鹿児島大学を理解してもらう機会の創出。

2. 開催方針

大学に触れる機会の少ない鹿児島県内の地方部で、鹿児島大学への志望者が多い地域での開催を優先する。

3. プログラム

<第一部>

(1) 鹿児島大学の教育と研究

(2) 鹿児島大学の入試の特徴

(3) 鹿児島大学の学生生活（授業料減免、奨学金等）と就職支援

(4) 鹿大生からのメッセージ（大学生活紹介、合格体験談等）

<第二部>

(5) 個別相談会（学部別、入試、生活、就職ブース）

4. 開催実績（直近3年）

<平成29年度>

- ・種子島会場（鹿児島県立種子島高等学校） 平成29年7月8日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 平成29年7月15日（土）開催
- ・指宿会場（鹿児島県立指宿高等学校） 平成29年7月22日（土）開催

<平成30年度>

- ・大隅会場（鹿児島県立志布志高等学校） 平成30年7月7日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 平成30年7月14日（土）開催
- ・徳之島会場（鹿児島県立徳之島高等学校） 平成30年7月21日（土）延期
（台風接近のため）
平成30年9月29日（土）中止
（台風接近のため）

<令和元年度>

- ・南薩会場（鹿児島県立加世田高等学校） 令和元年7月6日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 令和元年7月13日（土）開催
- ・徳之島会場（鹿児島県立徳之島高等学校） 令和元年7月20日（土）開催

令和元年度 活動報告

高等学校での大学説明会の実施

1. 実施の狙い

南九州地域（鹿児島県、宮崎県、熊本県）からの安定的な志願者確保のため、高校生に対し、鹿児島大学の教職員が直接高校を訪問し、教育、研究や入試内容を説明することで、鹿児島大学への理解と共感を深めてもらう機会とする。

2. 概要

<実施時期>

入学者選抜要項公表後の7月中旬から9月下旬

<形式>

鹿児島大学の教職員が高等学校を訪問し直接生徒に説明を行う。

<説明内容>

- ・入試説明（教科、科目及び配点、主な変更点）
- ・教育、研究内容（本学が派遣する教員の特色ある研究紹介等）
- ・学生生活（入学料、授業料（免除制度も含む）、奨学金、サークル活動、学生寮）
- ・就職状況
- ・その他（高等学校からの要望事項）

3. 導入によって期待される効果

南九州地域（鹿児島県、宮崎県、熊本県）から、鹿児島大学で学びたいという強い意欲を持った志願者の増加。

4. 令和元年度実績

番号	実施日	高等学校等名	参加生徒数	担当学部等
1	7月30日（火）	志學館高等部	20	医学部医学科
2	7月12日（金）	天草拓心高校 マリン校舎	8	水産学部
3	7月13日（土）	日南高校	100	工学部
4	7月17日（火）	鹿児島水産高校	2	水産学部
5	7月19日（金）	熊本学園大学付属高校	48	入試課
6	7月26日（金）	人吉高校	22	入試課
7	7月23日（火）	錦江湾高校	430	入試課
8	7月23日（火）	尚志館高校	82	入試課
9	7月24日（水）	出水高校	12	医学部保健学科
10	7月25日（木）	国分高校	50	医学部保健学科
11	7月29日（月）	大口高校	30	入試課
12	9月 6日（金）	芦北高校	30	農学部
13	9月 6日（金）	宇土高校	65	A C
14	10月 3日（木）	鹿児島実業高校	150	入試課
計 14校			1,049	

令和元年度 活動報告

高等学校等からの大学訪問受け入れの実施

1. 実施の狙い

将来の受験候補者や受験候補者を指導する指導教員、ならびに、将来の受験候補者の保護者に実際に鹿児島大学のキャンパスに来ていただき、鹿児島大学を体感していただくことで、受験候補者の裾野を広げるため。

2. 概要

<実施時期>

平成31年4月～令和2年3月

<形式>

鹿児島大学教職員からの大学概要説明、およびキャンパス内の見学。

その他、訪問校のニーズに沿って可能な範囲で対応する。

3. 令和元年度実績

番号	実施日	高等学校等名	学年等	訪問者数				説明者
				生徒等	教諭	保護者	計	
1	4月22日(火)	垂水高校	2年生	24	1	0	25 AC	
2	5月15日(水)	愛媛県立松山工業高校	教諭	0	1	0	1 工学部	
3	6月18日(火)	川内北中学校	PTA	0	3	30	33 入試課	
4	6月25日(火)	指宿高校	PTA	0	2	42	44 入試課	
5	6月28日(金)	国分中央高校	PTA	0	3	15	18 AC	
6	6月28日(金)	武岡台高校	PTA	0	2	50	52 AC	
7	7月9日(火)	国分高校	PTA	0	3	16	19 AC	
8	7月11日(木)	鹿屋中央高校	PTA	0	2	20	22 AC	
9	7月12日(金)	川内高校	PTA	0	3	50	53 AC	
10	7月22日(月)	加治木高校	PTA	0	2	58	60 AC	
11	7月22日(月)	大島高校	1、2年生	24	2	0	26 AC、共通教育センター (出前授業実施)	
12	7月23日(火)	出水中央高校	1年生	62	4	0	66 AC	
13	7月23日(火)	志布志高校	1年生	16	2	0	18 AC	
14	8月21日(水)	宮崎県立宮崎南高校	3年生	1	0	2	3 医学部保健学科、AC	
15	9月12日(木)	川霧清修館高校	1年生	19	2	0	21 AC	
16	10月3日(木)	鹿屋高校	PTA	0	2	49	51 AC	
17	10月17日(木)	明桜館高校	1、2年生	68	2	0	70 AC、教育、理、工、農、共通教育センター (出前授業実施)	
18	10月25日(金)	トライ式高等学院	生徒	13	2	0	15 AC	
19	10月30日(水)	川辺高校	1年生	73	6	0	79 AC	
20	10月31日(木)	薩摩中央高校	1、2年生	26	3	0	29 AC	
21	11月12日(火)	指宿高校	1年生	90	4	0	94 医学部保健学科、AC	
22	11月12日(火)	鹿児島育英館中学、高校	PTA	0	1	17	18 AC	
23	12月12日(木)	曾於高校	1年生	17	3	0	20 AC、法文学部	
	2月6日(木)	蒲生高校	1年生	0	0	0	0 期末試験期間中につき、要望に沿えず 先方より訪問キャンセル	
24	3月5日(木)	札幌市立旭ヶ丘高校	2年生	1	0	1	2 AC	
	3月19日(木)	鹿屋女子高校	1、2年生	0	0	0	0 新型コロナウイルスの影響により 訪問キャンセル	
本年度合計 24 校				434	55	350	839	
(参考) 平成30年度合計 32 校				817	81	506	1,404	

令和元年度 活動報告

秋季オープンキャンパスの実施

1. 実施の狙い

オープンキャンパスは例年8月上旬の夏季に開催をしているが、平成29年度から、秋季にも開催している。本学の魅力について高校生に情報提供することで、本学に一層の興味、関心を持ってもらい、志願者増に結びつけるとともに、魅力ある講義等を体験してもらうことで、参加者に本学で是非学びたいという動機付けを図る。

2. 概要（令和元年度）

<対象>

高校生、保護者、高校教諭

<実施日時>

大学祭期間中に実施

令和元年11月16日（土） 11：00～17：00

<場所>

鹿児島大学郡元キャンパス稲盛会館

<内容>

- ・ 体験講義（文系、理系）
- ・ 女子高生のための鹿大女子トーク！
- ・ 郡元キャンパス学部・学科訪問
- ・ 大学進学相談会



3. 令和元年度実績

内容	申込者数
体験講義（理系）	55
体験講義（文系）	33
女子高生のための鹿大女子トーク！	53
郡元キャンパス学部・学科訪問	142
計	283

理系、文系それぞれの先生による生の講義を体感する「体験講義」や、郡元キャンパス内の各学部の施設を教職員や大学生が案内する「郡元キャンパス学部・学科訪問」、入試や大学進学などの疑問にお答えする「大学進学相談会」といった企画を実施するほか、令和元年度は「女子高生のための鹿大女子トーク！」と題し、本学女子学生による受験の体験談や大学生活を紹介する企画を新たに実施しました。

各企画に県内外よりたくさんのお申し込みを頂き、また、当日も多くの方にお越しいただきまして、盛況のうちに終了しました。